

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業			事業番号	014-022
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実
		有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
		無	取組	—			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン		
3	事業開始年度	平成 13 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	児童福祉法、子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）実施要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	会員登録講習会を受講したファミリー・サポート・センターの登録会員	対象数	—	単位	—
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	地域における子育てを支えあう体制を拡充することにより、保護者が仕事と育児を両立できる環境を整備する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	子育ての応援を受けたい方（依頼会員）と子育ての応援をしたい方（提供会員）が、相互援助活動を行う。センターは、依頼会員からの依頼内容に応じることができる提供会員を調整して双方に紹介し、双方合意の上、活動が開始される。利用料は1時間につき700円で、依頼会員が提供会員へ直接支払う。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺市社会福祉協議会				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度	
11	活動件数	目標値	13,000	13,000	13,000		
		実績値	8,315	8,527			
		達成率	64%	66%			
当該指標を選定した理由		活動件数によって、相互援助活動の実施件数がわかり、地域において子育てを支えあう体制の拡充を計ることができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		過去の実績等を勘案して設定					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度		
12	会員登録者数	目標値	5,000	5,000	5,200		
		実績値	4,938	5,001			
		達成率	99%	100%			
当該指標を選定した理由		会員数により子育ての応援を受けたい方と応援したい方を把握することで、相互援助活動につなげることができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		過去の実績等を勘案して設定					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業	事業番号	014-022
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
項目		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費 (a)	17,989	18,000	18,000	18,000	19,148
	財源					
	国支出金	6,733	6,000	6,000	6,000	6,733
	府支出金	6,733	6,000	6,000	6,000	6,733
	市債					0
	その他 ()					0
14	人件費 (b)	810	820	820	820	820
	年間経費(c)=(a)+(b)	18,799	18,820	18,820	18,820	19,968

事業費の内訳		（単位：千円）																	
		年度		事業費		うち一般財源		年度		事業費		うち一般財源							
16	事業費内訳	項目		年度		事業費		うち一般財源		項目		年度		事業費		うち一般財源			
		ファミリー・サポート・センター運営業務	R3	決算	18,000	6,000					R3	決算							
			R4	予算	19,148	5,682					R4	予算							
			R3	決算							R3	決算							
			R4	予算							R4	予算							
			R3	決算							R3	決算							
			R4	予算							R4	予算							
			R3	決算							R3	決算							
R4	予算								R4	予算									

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費		区分	単位	令和2年度	令和3年度
17	①	活動件数	件	8,315	8,527
	②	上記①にかかる年間経費	千円	18,820	18,820
	③	単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	2,263	2,207
備考 (算出についての説明等)					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	<p>保育施設・小学校等が休止となり送迎の件数が減少するなど令和2年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響はあるが、感染防止に注意しながら事業を継続実施しているため、活動件数は増加している。件数の増加に伴い、単位当たりの経費は低くなっている。</p>
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	<p>子育て応援を希望する会員は変わらず、依然として保護者が仕事と育児を両立できる環境を求めており、事業のニーズがあることが認められる。地域における子育てを支えあう体制の拡充により、保護者が仕事と育児を両立できる環境の整備につながった。</p>